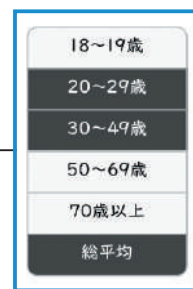
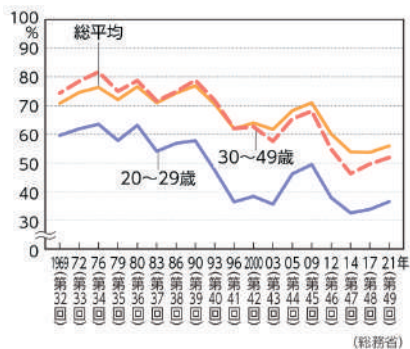


◆指導者用デジタル教科書（教材）の紹介 ～公民～

指導意図に沿った図版の表示

地図や表、グラフなどの資料の一部を隠して提示できます。焦点化して注目させたり、「見せない」ことで生徒の思考を促したりすることができるため、発問や課題の提示につなげやすく、生徒の資料読解力を培うのに役立ちます。



表示したい凡例を選択

▲p.91

画像を最大化

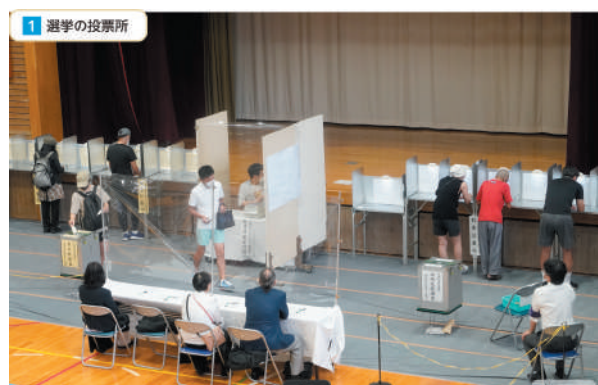
写真や図版をこれまで以上に大きく表示できるようになり、生徒の興味・関心をさらに高めることができます。

<令和3年度版>



p.88 ▶

<令和7年度版>

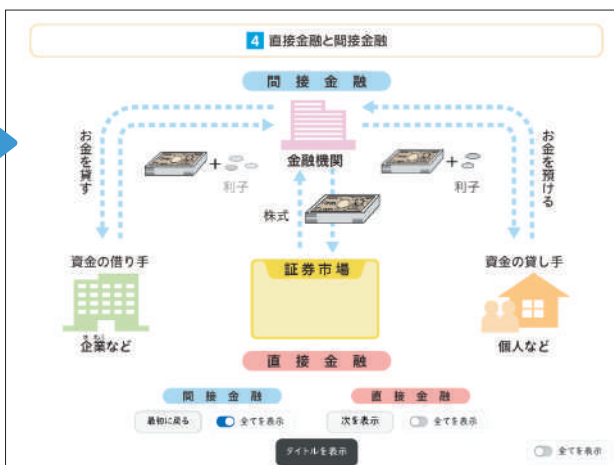


段階ごとに分解した、工夫された資料提示



情報量の多い図版を順を追って表示することができ、生徒の理解が深まります。特に、経済領域の「流通」や「金融」などのしくみを解説した資料を提示する際に役立ちます。

◀p.157



单元名

第6章 国際社会に生きる私たち 2節 国際社会が抱える課題と私たち

「4 なくてはならない食糧と水」(教科書 p.216-217)

本時の目標

人間の安全保障の実現はなぜ困難に直面し、貧困や飢餓、栄養不足人口の増加を招くのだろうか。多様な発生要因とその関連性を考察しながら、国際社会が直面する課題を深く理解する。

《本時の展開例》

	学習活動	留意点	デジタル教科書・教材				
導入 (5分)	■ p.216 1 「世界の飢餓状況を示すハンガーマップ」を観察し、 <u>栄養不足人口の割合が高い国を確認</u> する。	・ <u>ハンガーマップは、階級別に表示できる</u> 。特に25%以上の国や「データなし」の国に着目させる。	■ 電子黒板に p.216 1 「世界の飢餓状況を示すハンガーマップ」を拡大表示。				
展開 (40分)	問 「人間の安全保障」とは、紛争や暴力以外のどのような脅威から人間を守る考え方だっただろうか。 (1)個人活動 (情報整理) 問 なぜ、人間の安全が脅かされるのだろうか。 ▲ 「動画」を見てその要因をあげ、以下の二つの視点で ◎「ベン図」に整理してみよう。 ▲ 動画視聴「世界の飢餓」2：29 <table><tr><td>①自然的な要因</td><td>②人為的な要因</td></tr><tr><td>洪水・干ばつ・地震等の自然災害・気候変動の影響</td><td>紛争・貧困・学校に通えない・食糧価格の変動</td></tr></table> ↓ (2)協働学習 (要因考察) (1)をグループ内で共有してまとめ、 (2)の協働学習で使用する。 問 それぞれの要因はどのように「関連」し合っているだろうか。 ・ A3用紙2枚分のサイズの紙に付箋を配置して、「相関図」を作成する。 問 人間の安全保障のために、国連はどのような取り組みをしているのだろうか。	①自然的な要因	②人為的な要因	洪水・干ばつ・地震等の自然災害・気候変動の影響	紛争・貧困・学校に通えない・食糧価格の変動	・ p.214を参照しながら、前時の振り返りを行う。	◎ デジタル教科書の「思考ツール」から、 <u>ベン図を選択</u> →「選んだツールで使い始める」→「画像で保存」。
①自然的な要因	②人為的な要因						
洪水・干ばつ・地震等の自然災害・気候変動の影響	紛争・貧困・学校に通えない・食糧価格の変動						
		・ ベン図のデータ又は、A3の用紙と付箋を配布する。	・ ベン図を背景に設定したソフト等のデータをひな形として配布し、活用することもできる。				
		・ ベン図の二つの○が交差する中央の部分に「人間の安全への脅威(栄養失調や飢餓)」、左右に①、②の視点を書き、その要因を整理させる。	▲ 動画「世界の飢餓」視聴において、 <u>再生速度を「おそい」に設定</u> すると再生時間が延びてしまうが、生徒がじっくりと聞き取りながらメモを取れるという点では有用である。必要な部分が視聴できたら、再生速度を早めてもよい。				
		・ 動画の視聴後、p.214の本文も参考に、感染症、人権侵害、p.216の水不足や汚染、水の過剰利用、なども <u>ベン図に追加</u> する。					
		・ 3～4人グループを構成する。					
		・ 「相関図」を作成する過程で、諸要因がどのように関連し合うのか、グループで話し合いながら諸要因を線でつなげていく。「相関図」でなぜ結びつけたのか、その理由を話し合い、書き込んでいく。					
まとめ (5分)	問 「人間の安全保障」の実現はなぜ難しいのか、学習の成果を振り返りながらまとめてみよう。	・ 課題をデータまたはワークシートで配布する。	デジタル教科書(教材)で活用する機能の例 ■ 拡大 ◎ 思考ツール ▲ 動画				

指導にあたって

●本時で取り扱う貧困や飢餓、食糧問題や水不足などは、いずれも人為的要因と自然的要因が絡み合い、その淵源は極めて複雑である。特にサブサハラ・アフリカでは、干ばつと水不足による農業不振に加え、民兵や傭兵、テロ組織が割拠し「国家の安全保障」そのものが危機に瀕していて、人道上の危機が「人間の安全保障」を脅かしている。アフリカ諸国は、1960年代に脱植民地化から主権国家体制を築くも、その領域に暮らす「国民」の実態は多様な民族・部族で構成され、国民統合と国内統治を困難にさせた。紛争や内戦が多発する構造的要因をつくったのは、アフリカ分割統治の境界線を引き継いだ「国境線」であることは言うまでもない。この意味から、本時の内容は第6章2節1～3と密接に関連しており、指導の中で「国際社会が抱える課題」を深く理解させたい。

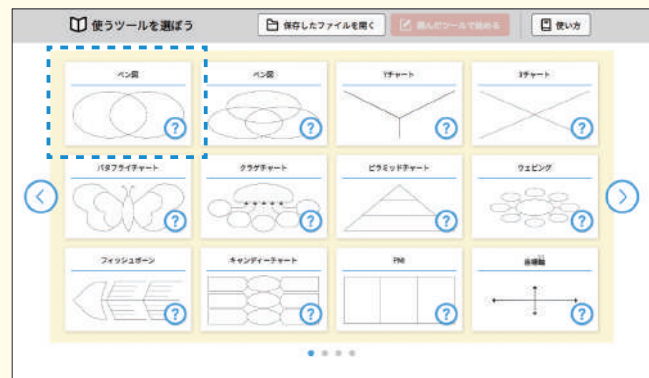
デジタル教科書の活用例

- 「動画」(p.216〈世界の飢餓〉)を使用し、本時の学習の主たる学習資料として活用する。

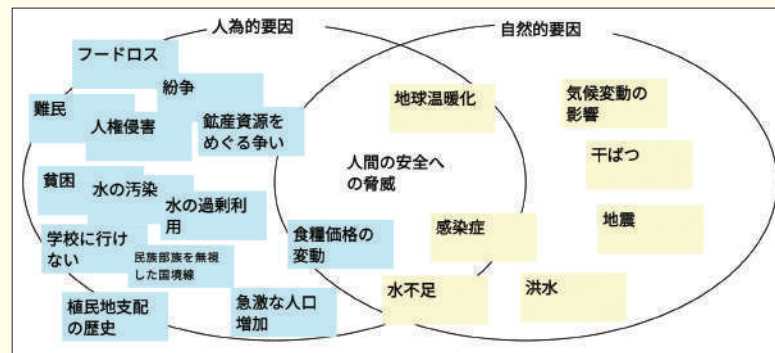
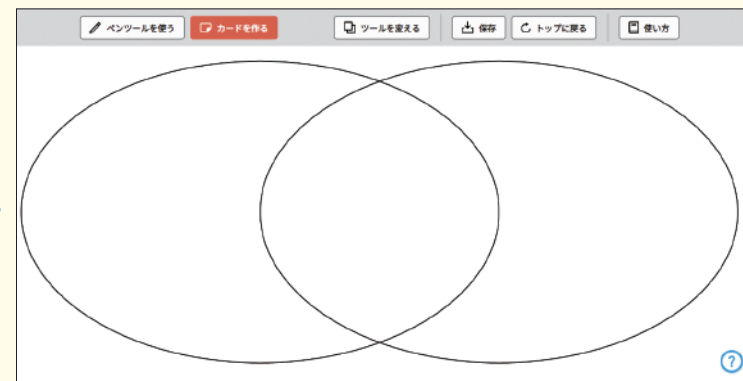
デジタル教科書中の動画マークから、紙面に関連する動画を再生することができます。



- デジタル教科書の「思考ツール」を用い、「人為的要因」と「自然的要因」の整理に活用する。



▲デジタル教科書中の「思考ツール」画面（左）と「ベン図」（右）



▲ (1) 協働学習の例：「ベン図」



▲ (2) 協働学習の例：「相関図」

* Google Jamboardの機能は、当社指導者用デジタル教科書（教材）には搭載していません。

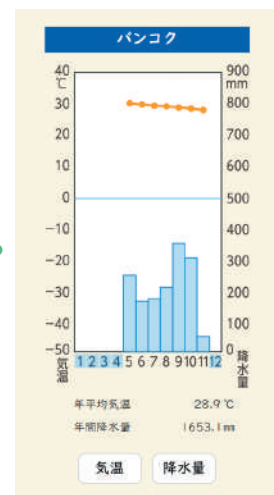
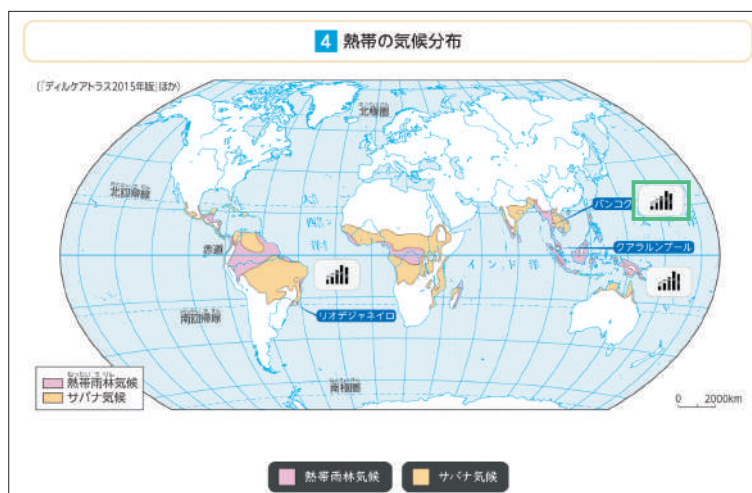
授業でさらに活用するポイント

●本時の展開は、授業を2コマに増やし、発表や情報交換の時間を十分に確保することで、さらに生徒の考察を深める事ができる。また、生徒がまとめた「相関図」は、工夫した点や構図を各グループの生徒同士が互いに確認し合うことで、多様な見方や考え方・思考の「違い」に触れることができる。

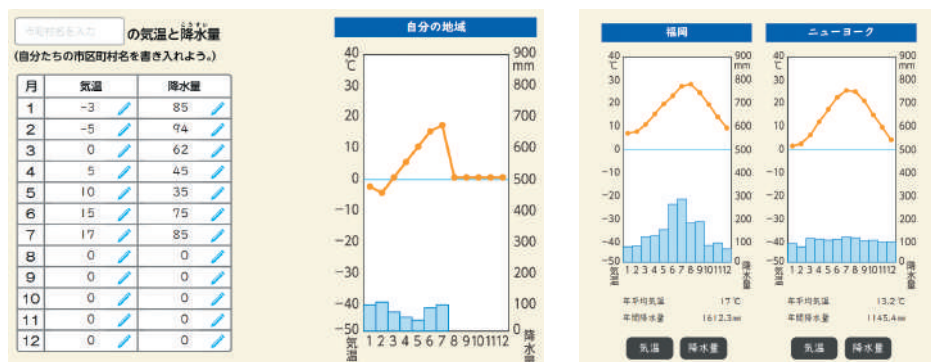
雨温図を選べる！ 作れる！ 比較できる！～地理～

気温、降水量のグラフを個別に、または月ごとに表示することができるため、地域の気候の特徴的な部分に焦点化することができます。

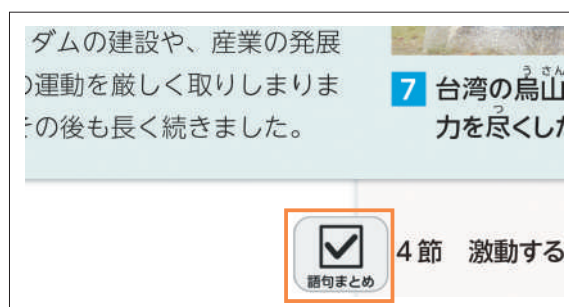
p.29 ▶



「雨温図ツール」から、いつでも任意の地点の雨温図を表示できます。自分で作成したり、並べて表示したりすることもでき、地理の学習全体を通して役立ちます。



単元のまとめ、振り返りに役立つコンテンツ～歴史～



▲p.187

太字語句について、見開きごとに一覧で表示することができます。

語句、説明いずれかを非表示にすることが可能なため、授業のまとめや振り返りなどを短時間で行う際に役立ちます。見開きに設置されたアイコンをクリック、またはサイドバーから単元を選択して表示することができます。



説明	語句
1894年に朝鮮南部で起こった、東学を信仰する農民による反乱。外国勢力の進出と政府に対する不満により立ち上がった。	
1894年に始まった日本と清との戦争。甲午農民戦争をきっかけに朝鮮半島を戦場として行われ、日本の勝利に終わった。	下関条約
	三国干渉
1900年に伊藤博文によって自らを代表として結成された政党。	